



発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市中央  
7-10-9  
電話 736-9933  
FAX 736-9991

# 台風19号 春日部市 警戒レベル4 避難勧告発令 66カ所の避難所に2185人

12日(土)と13日(日)の大型で強い台風19号は、東北、関東・甲信越、東海をはじめ広範囲に甚大な被害を引き起こしました。多数の河川が氾濫して、濁流が住宅地に押し寄せ、各地で土砂崩れが相次ぎました。

利根川が「危険氾濫水位」8・9メートルに到達

12日(土)、熊谷地方気象台は午前4時6分に大雨警報、7時24分に洪水警報、12時5分に暴風警報を発表し、春日部市も警戒対象になりました。

## 市内の降水量・風速

- ・総雨量 248mm  
11日(金) 17:00~13日(日)24:00
- ・時間最大雨量 41.5mm  
12日(土) 21:00~22:00
- ・10分間最大雨量 14.5mm  
12日(土) 21:20~ 21:30
- ・最大風速 15.2メートル/s  
12日(土) 22:21
- ・最大瞬間風速 33.6メートル/s  
12日(土) 22:12

市は、12日(土)午前4時6分に警戒本部を設置し市民に注意喚起を行うとともに、建設業安全協力会に緊急時に備えて排水ポンプ、土のう等を要請して、道路障害物の除去などを実施しました。

13日(日)午前0時15分に

は利根川の水位が避難判断水位(8・1メートル)に到達し、氾濫危険水位(8・9メートル)に到達する見込みのため、全職員を招集し、避難所開設の準備を行いました。

そして、警戒本部から災害対策本部に切り替え、午前2時38分に防災無線で緊急放送「警戒レベル4、避難勧告」を発令しました。

避難者数は2185人でした。多かつた所は、正風館263人、アシスト春日部163人、武里市民センター119人などです。武里中学校は周辺道路が冠水し使用ができず、市民体育館と市民武道館、薬師沼憩いの家は、平屋建のため開設できませんでした。

床下378件、床上15件  
停電約1700軒

市内の被害状況は、通行止めが、ゆりのきアンダーパス、

共栄高校南側道路、水角国道4号バイパスなどで、道路冠水は多く発生し、土のうは2563袋提供されました。

浸水被害は、床下378件、床上15件で、停電は午前2時23分から4時59分まで小淵、八丁目の約1700軒でおこりました。人的被害は、強風による転倒2件、避難中の転倒1件で、いずれも軽症でした。(いずれも17日現在)

首都圏外郭放水路は、12日午前11時30分から16日午前1時10分まで稼働し、大きな役割を果たしました。

被災についての問合せ  
相談は市役所へ

埼玉県では48自治体が災害救助法の適用となり、春日部市も含まれています。

被災についての各種問合せや相談は、市役所まで。電話は(736) 1111です。

大野とし子議員一般質問



ひきこもりがちな市民の相談  
のために専門的部署の設置を

9月17日、大野とし子議員は、①専門的部署を設置し、ひきこもりがちな市民への温かい支援を②富多小跡地は、住民の願いに沿って、地域活性化に資する施設をについて一般質問を行いました。

若者サポートステーション等と連携する体制を

今年3月内閣府は、40歳から64歳のひきこもり者数を約61万人と発表し、15歳から39歳までのひきこもり者数と合わせると115万人といわれ

ています。ひきこもる中高年と高齢の親が孤立する「8050問題」も深刻です。

ひきこもりとなる要因は、不登校から社会とのかかわりがなくなる場合、就労はしたけれど続かず、悩んでいる間に長期化してしまう等様々です。ひきこもりの支援にかかわる人たちは、日本は失敗すると自己責任とされてしまうが、「そのままの自分でいいんだよ。」と受け止めてあげられる社会が求められていると訴えています。

市内には、厚労省が所管する、15歳から39歳までの若者の就労を支援する「埼玉とうぶ若者サポートステーション」があります。目的は、就労支援ですが、就労につまづいた

若者に「コミュニケーション訓練」等を行い、自立に向け取り組んでいます。

大野議員は、身近なところにあるこのような機関と連携し、ひきこもりがちな市民の自立を継続的に支援するとともに、市民の思いをしっかりと受け止めることができる専門的部署の設置を求めました。健康保険部長は、「専門的部署の設置は予定していないが、専門機関との連携は大切と考えている。」と答弁。

富多小跡地は、地域の活性化に資する施設を

富多小跡地は、民間活用による「農業と観光を生かした事業」を行うこととなり、現在事業者の募集が行われています。12月には、住民代表も参加している「跡地活用提案委員会」において優先交渉権者を選定します。

126年の歴史を持つ富多小学校の跡地活用であり、専業農家による野菜作りやいちご栽培に取り組んできた農業振興地域ですので、地域の活性化に資する施設としなければなりません。

大野議員は、事業者選定にあたり、①地域の資源を、どのように生かせるのか②現在行っている学校開放や避難所としての役割などの利便性が下がることはないのか③民間事業者委託後市はどのように係わっていくのか質しました。

総合政策部長は、「地域貢献度を高い配点としていることや審査にあたり、文書だけの審査ではなく、プレゼンテーション等を行っていくので、地域の活性化に資する事業者が選定できると考えている。安定した事業運営は重要との観点から10年間の買戻し特約を付している。」と答弁しました。

市立医療センター Tel735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外 救急電話相談#7119

10/27(日) 南部厚生病院(内科系) 大場20-1 Tel736-7511 いぶきこどもクリニック(小児科系) 大枝309Tel735-0854 さくら皮膚科(外科系) 中央1-1-1 Tel760-4112

11/ 3(日) 大川医院(内科系) 備後西3-1-5 Tel735-3121 久野医院(小児科系) 六軒町204 Tel737-1234 彩都レディースクリニック(外科系) 大枝366 Tel746-4832